平成28年度第1回企画展示

ハマの大地を創る

―吉田新田から近代都市へ―



吉田新田開墾前図(開発前図)　吉田興産株式会社所蔵



吉田新田開墾図(開発図)　吉田興産株式会社所蔵

2016年 4月15日 金 ～
7月18日 月 祝

●開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)
水曜日は展示室のみ19:00まで開館(入館は18:30まで)

●休館日:月曜日(7月18日は開館)

●入館料:一般200円、小中学生100円
入館無料 "Y157"開催日の5月28日(土)・29日(日)、開港(開館)記念日の6月2日(木)は入館無料です

●主催:横浜開港資料館
共催:横浜市教育委員会
後援:朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞社横浜総局/東京新聞横浜支局/日本経済新聞社横浜支局/毎日新聞横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局/NHK横浜放送局/tvk
協力:横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会/NPO法人横浜シティガイド協会

東急東横線・みなとみらい線日本大通り駅下車
〒231-0021 横浜市中区日本大通3　TEL.045-201-2100
ホームページ　http://www.kaikou.city.yokohama.jp/

横浜開港資料館
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

157 151 TO 200 YOKOHAMA CENTRAL TOWN FESTIVAL

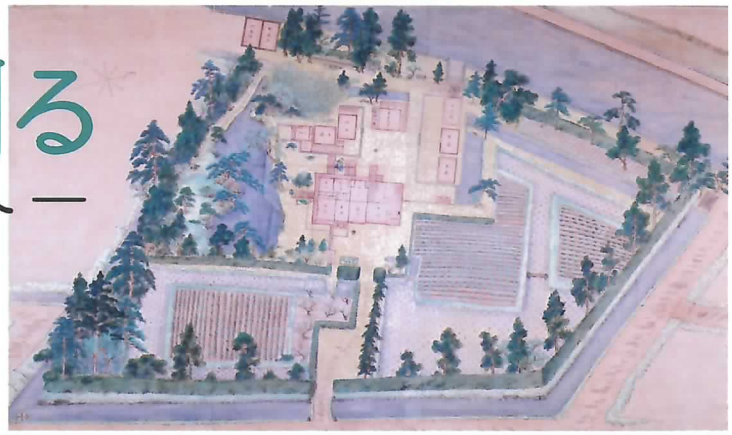


第一大区横浜全図(部分)　明治7年(1874)　当館所蔵

平成28年度第1回企画展示

ハマの大地を創る

―吉田新田から近代都市へ―



吉田本家旧邸宅図　吉田興産株式会社所蔵

展示構成

1 開発前図を読む
2 開発図を読む
3 吉田勘兵衛
4 干拓はじまる
5 米づくりの始まり
6 吉田新田の完成
7 吉田家による新田経営
8 横浜新田と太田屋新田
9 開発から近代都市へ

●展示関連講座「吉田新田を学ぶ」

展示担当者によるテーマごとの解説講座

第1回　5月14日(土)「吉田新田の開発」
第2回　6月18日(土)「横浜新田・太田屋新田の開発」
時間:14:00～16:00(各回)
会場:当館講堂
参加費:1回につき500円
定員:当日先着80名
受付方法:当日13:30より会場にて受付

●展示説明会「吉田新田を知る」

展示担当者による展示の概要説明

第1回　5月21日(土)
第2回　6月25日(土)
時間:14:00～15:00(各回)
会場:当館講堂
参加費:無料(入館券が必要です)
定員:当日先着50名
受付方法:当日13:30より会場にて受付

●横浜シティガイド協会主催「吉田新田を歩く」

横浜シティガイド協会の案内による吉田新田の「まち歩き」

第1回　6月4日(土)
第2回　6月21日(火)
コース:9:30京急南太田駅集合～お三の宮日枝神社～天神坂～12:00京急日ノ出町駅解散(予定)
※2回とも同じコースです。
定員:50名

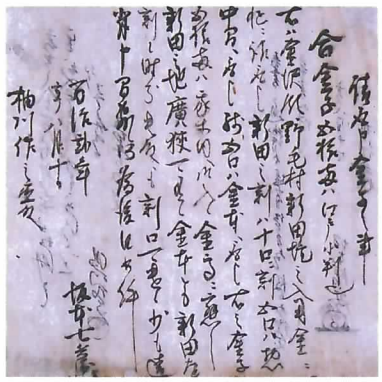
◎お申し込み・お問い合わせ
横浜シティガイド協会
FAX 045-228-7693　TEL 045-228-7678
ホームページ http://www.ycga.com/

157 151 TO 200 YOKOHAMA CENTRAL TOWN FESTIVAL　横浜セントラルタウンフェスティバル"Y157"参加プログラム
5月28日(土)・29日(日)

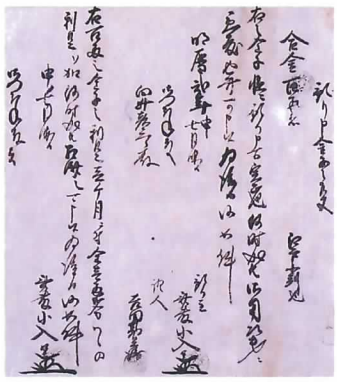
市役所や県庁などが存在する横浜市域の中心部は、かつては元町あたりから北へと伸びる横浜村の砂州と、それによって東京湾と区切られていた入海でしたが、江戸時代の新田開発により、次第に田や畑といった耕地へと変わります。結果的に、この入海の陸地化が開港場の建設を容易にするとともに、その後における都市域が拡大する用地を準備したことになります。江戸時代における新田開発が近代横浜の基盤を創り上げたのです。

この入海に成立した新田の内、最も早くかつ大規模であったものが吉田新田です。江戸の材木商人である吉田勘兵衛によって開発されたこの新田は、350年程前の寛文7(1667)年に完成しています。吉田新田の開発により、入海の約8割が陸地となりました。その後、残された入海も19世紀初めから半ばにかけて、横浜新田・太田屋新田として開発されていきます。

本企画展では、こうした17世紀半ばから明治初年までの約200年間にわたる入海→新田→近代都市という横浜都心部の景観の変貌について、その起点となった吉田新田の開発を中心に紹介します。



万治2年(1659)　請取申金子之事
吉田興産株式会社所蔵



明暦2年(1656)　預り申金子之事
吉田興産株式会社所蔵



次回展示予告

芝山漆器と横浜(仮称)
2016年7月22日(金)～10月23日(日)

〒231-0021 横浜市中区日本大通3　TEL.045-201-2100
ホームページ　http://www.kaikou.city.yokohama.jp/

●みなとみらい線「日本大通り」駅③番出口から徒歩2分
●JR「関内」駅南口・市営地下鉄「関内」駅下車徒歩15分
●JR「桜木町」駅から市営バス「日本大通り駅・県庁前」・「大さん橋」下車徒歩1分

横浜開港資料館
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY